

Q28

盲・ろう・養護学校から 幼稚園・保育所への支援は？

まずは
ここから



- 困っていること，悩んでいることは気軽に相談します。
- 教育相談担当者に支援チームの一員として参加してもらいます。

タツヤさんは，優しい男の子ですが，時として大泣きをしたり，動かなくなってしまうときがあります。担当保育士はどう対応したらいいか悩んでいました。

担当保育士

養護学校教育相談担当教員



担当保育士は，園長に相談しました。その結果，盲・ろう・養護学校の教育相談担当教員に，このことを相談してみましたことにしました。



教育相談担当教員は定期的に保育所を訪問していました。

タツヤくんにかかわる人たちで支援チームを立ち上げました

現担当保育士
タツヤさんへの支援を直接行います。



教育相談担当
専門的な立場から実態把握の方法や指導法について助言します。

前年度担当保育士
前年度の様子や成長に対する情報提供を行います。

園長
園の支援体制づくりや保護者との関係づくりを支援し側面から支えます。

支援チームでは，次のような流れを大事にして支援しました

- ① 問題行動を中心とした実態把握を行い，支援目標を設定する。（継続的記録 → 評価・検討）
- ② 支援目標に基づき，具体的支援のポイントを導き出して支援する。
- ③ 支援した結果を検討，評価し，修正を加えながら支援を行う。

支援チームを立ち上げ，それぞれの立場で情報を提供し合いかわることを通して，タツヤさんの行動は改善されていきました。



【キーポイント】 盲・ろう・養護学校では，教育相談担当教員が幼稚園や保育所に出掛けて支援することができます。まずは，「一本の電話」から始めましょう。

⇒ 事例の内容についてはQ3を参照してください。